

授業科目 解剖学Ⅱ

【担当教員名】 山田まりえ、笹川一郎	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	60

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
解剖学Ⅱでは、特に運動器について骨学、関節・靭帯学、筋学に系統的に分け、それぞれについて名称、位置、構造、機能、ならびにそれらの相互関係を理解する。さらに神経系（中枢神経系、末梢神経系）について、その構造・機能を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 ※行動目標（SBO）として記述する場合はSBO番号を付記すると共に、下のSBO番号欄に該当する番号を記入して下さい。

- 骨格系の機能を概説できる。
- 全身の個々の骨を見分け、名称を言える。
- 椎骨に共通の基本構造、また頸椎・胸椎・腰椎各々の特色を理解し、説明できる。
- 椎間円板または脊柱弯曲の意義について説明できる。
- 体肢の骨格では上肢・下肢を比較しながら、各骨の細部の名称を言える。
- 骨の連結の種類を形態学的に分類し、説明できる。
- 関節の形態的な分類と代表例を説明できる。
- 体肢における滑膜性連結と靭帯について説明できる。
- 筋組織の種類、形態学的特徴と機能について理解し、体内の分布部位を説明できる。
- 骨格筋の構造とその付属器について概説できる。
1. 主要な骨格筋の名称、起始・停止、支配神経を理解し、簡単な作用について説明できる。
2. 神経系を構造、機能の観点から分類し、それぞれを概説できる。
3. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。
4. 中枢神経系を区分し、各々の機能を概説できる。
5. 脳神経の番号、名称、主たる働きを説明できる。
6. 脊髄神経を概説し、4つの神経叢の神経分布を説明できる。
7. 交感神経系、副交感神経系について構造と機能を概説できる。

回数	授業計画又は学習の主題		※SBO番号欄は該当する行動目標(SBO)の番号を記入して下さい。 (必要に応じ野線を引いて下さい。)			
			SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	骨学 1-6	骨とは	骨学総論	1, 2	講義	
~		骨学各論	頭蓋 脊柱 胸郭 上肢 下肢	3, 4	"	
6				5	"	
7		関節・靭帯 1-6	関節・靭帯総論		6, 7	"
~			関節・靭帯各論	頭蓋の連結 脊柱、脊柱と頭蓋の連結	8	"
12			上肢の連結 下肢の連結		"	
13	筋学 1-6	筋学総論		9	"	
~		筋学各論	体幹の筋 上肢の筋 下肢の筋	10	"	
18				11	"	
19	神経系 1-10	神経系総論		12	"	
~		神経系各論		~	"	
28				17		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・態度、小テスト、期末試験の総合評価	【履修上の留意点】 不定期に小テストを実施します。総合評価にいられますので、欠席をしないよう注意すること。勉学範囲が広いので日頃の復習が重要です。
----------------------------------	--